

赤ちゃん先生クラスによる結婚・出産・育児を軸にした オンライン型キャリア教育の開発

ママの働き方応援隊 北播磨校

1. 事業の目的

従来より行っていた「訪問型の赤ちゃん先生クラス」の可能性を広げるため、昨年に引き続き「オンライン型の赤ちゃん先生クラス」を実施する。可能であれば訪問型も実施。また結婚・出産・育児への生徒の理解・関心の男女間格差を解消する内容の開発をキャリア教育の専門家と協働して行い、キャリア教育上のジェンダー格差解消にも寄与できるよう取り組む。

2. 活動内容

①赤ちゃん先生クラス：9高校にて実施、受講生徒429人

学校名	開催形式	開催学年	生徒人数	開催日
兵庫県立小野高等学校	訪問	3年	23人	2021/12/23
兵庫県立西脇高等学校	訪問	2年	28人	2021/11/16
				2021/11/30
兵庫県立社高等学校	オンライン	1年	120人	2021/12/20
		1年	120人	2021/12/17
兵庫県立北条高等学校	訪問	3年	6人	2021/11/5
		3年	11人	2021/12/8
兵庫県立三木東高等学校	訪問	2年	22人	2021/12/20
				2022/1/14
兵庫県立柏原高等学校	オンライン	3年	12人	2021/11/1
				2021/11/22
兵庫県立三田西陵高等学校	訪問	3年	9人	2021/11/29
兵庫県立篠山産業高等学校	訪問	2年	38人	2021/11/15
				2022/1/17
兵庫県立氷上西高等学校	訪問	1年	40人	2021/11/30
				2021/12/21



▲訪問型の赤ちゃん先生。カバンの中身を見せています



▲オンライン型の赤ちゃん先生。画面越しに自然な表情の赤ちゃんが映り、複数の母親から話が聞けます

②オンライン研修会

・12/17(金)「ジェンダーに関する講座」 講師：鴨谷香さん（キャリアオフィスカモタニ）

参加者：12名（後日録画参加 3名）

・2/24(木) (予定)「赤ちゃん先生の意義(仮)」 講師：大泉華音さん（早稲田大学院生、赤ちゃん先生を研究）

③アンケートまとめ（3月実施予定）

3. 事業の成果

赤ちゃん先生クラスはコロナが比較的落ち着いている秋に多く実施できたため、学校の希望で訪問型での開催を多く実施できた。またオンライン開催では、テレワーク中のパートナーが登場したり、パートナーの録画出演もあり、男性目線での話もできたので、男子生徒がより結婚・出産・育児をイメージできる機会になった。研修会では、ジェンダーをどうとらえるかについて学びを深めることができ、ジェンダー教育について改めて考える機会となった。

4. 今後の展望

コロナ禍で開発された「オンライン型赤ちゃん先生クラス」であったが、訪問型ではできなかった家での赤ちゃん先生の様子を見ることが出来たり、パートナー目線でのお話をよりリアルにお伝えできるようになったりと、オンラインの利点を生かした新たな可能性を生み出すことができた。学校側からは訪問型の要望も強いが、今後はニーズによってオンライン型との併用も考えて実施していきたい。